

文教警察委員会 県内所管事務調査の概要

【平成28年5月11日（水）】

◆調査箇所：日田教育事務所

＜概要＞

日田教育事務所における組織、基本姿勢・重点方針、管内の特徴、管内小中学校の概要、教職員・児童生徒の状況、学力・体力の状況、いじめ・不登校調査の状況等（いじめ認知件数・いじめ解消率等）について、調査を行った。

また、熊本地震による管内の小中学校施設の被害状況、臨時休校、児童生徒の避難状況及び学校給食への影響等について報告を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・中学校統合による中1ギャップの状況と対策について
- ・学力向上支援教員の業務内容と成果について
- ・教員の人事異動に伴う教育上の弊害について

◆調査箇所：日田林工高等学校

＜概要＞

114年の歴史と伝統を持つ農・工併設の専門高校であり、創立以来の林業系をはじめ全4学科（林業科、機械科、電気科、建築土木科）がある。

中でも、林業科では、3年間で5回三花演習林に出向き、寝食を共にしながら演習林実習に取り組んでいる。

概要の説明を受けた後、授業の様子、構内施設・設備を視察するとともに、熊本地震で被災した校舎の天井剥離、内壁の亀裂、ガラス割れ、裏山の土砂崩落などの状況を確認した。



＜主な質疑等＞

- ・学校の特色づくり、情報発信について
- ・志願状況について
- ・地元企業のニーズに対応した人材育成の取組について

◆調査箇所：玖珠町立玖珠中学校

＜概要＞

昭和22年に創立。平成23年に学校運営協議会設置校の指定を受け、学校、家庭、地域が目標や課題を共有し連携して課題解決に取り組むコミュニティスクールを推進している。

玖珠町で最も生徒数の多い中学校であり、コミュニティスクールの利点を生かした職場体験学習、職業人講話、卒業生を講師とした授業「ようこそ先輩」等のキャリア教育を推進している。



＜主な質疑等＞

- ・子供の携帯電話の使用状況、夜間利用の管理について
- ・コミュニティスクールの成果と課題について
- ・キャリア教育の取組について

◆調査箇所：玖珠警察署

<概要>

玖珠警察署における組織、管内の概況、運営重点の推進事項等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保、少年非行防止・保護対策の推進等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、くじゅう山系における山岳避難事故対策、若手警察職員の早期育成等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・熊本地震への出動状況、課題について
- ・特異行方不明事案の概要について
- ・少年非行防止対策について

【平成28年5月12日（木）】

◆調査箇所：中津南高等学校耶馬溪校

<概要>

創立78年、中津南高校耶馬溪校として10周年を迎える。普通科1学級制で、2年次より進学、情報会計、生活福祉の3コースを編成している。

徹底した少人数教育により、礼法指導、中学生からの振り返り教材による学び直しの実施など、基礎基本の定着を推進している。

地元小学校とのホタル授業による交流、清掃活動や下郷祭りなど地域の行事にも積極的に参加するとともに、地元中学校、支所等への定期的な情報紙の配付など広報活動にも取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・中津南高校と耶馬溪校の職員の配置状況、職員・生徒の連携・交流について
- ・振り返り教材による中学時の基礎学力不足解消授業の成果について
- ・特色・魅力ある学校づくりの取組について

◆調査箇所：中津教育事務所

<概要>

中津教育事務所における管内小中学校の概要、教職員の概要・人事異動の状況、中津教育事務所の指導の重点及び指導指針（確かな学力の育成（学力向上対策等）、豊かな心の育成（いじめ・不登校対策等）、健やかな体の育成（体力向上の取組）、学校・家庭・地域の協働（家庭や地域に対する情報発信・共有の充実等））について、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・臨時講師の担任の割合、配置状況について
- ・宇佐高校統合の影響について
- ・学力向上に向けた県教育委員会と市町村教育委員会との連携強化について

◆調査箇所：県立歴史博物館

<概要>

県民に親しまれる博物館を目指し、展示・教育普及・調査研究・保存修復など様々な事業を実施している。展示では、通年開設の常設展をはじめ、特別展、企画展、特集展示を行っている。

教育普及活動では、特別展や企画展に伴うギャラリートークや、小学生対象の歴史教室の開催、博物館ボランティアへの研修などを行っている。

調査研究活動では、国東半島荘園村落遺跡群詳細分布調査の刊行をはじめ、大分の歴史・文化に関わる資料の収集などに取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・インバウンド対策について
- ・歴史博物館の宣伝強化、入館者数を増やす取組について
- ・福沢諭吉に関する常設展示、中津市との連携について

◆調査箇所：宇佐警察署

<概要>

宇佐警察署における組織、管内の概況、運営重点の推進状況等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護総合対策の推進等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、若手警察官の実務能力向上、特殊詐欺被害防止対策等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・防犯カメラの設置状況について
- ・交番の機能充実、警察官の処遇について
- ・若手警察官の実務能力向上について

【平成28年5月17日（火）】

◆調査箇所：大分教育事務所

<概要>

大分教育事務所における職員配置状況、管内の小中学校・児童生徒数、教職員数、人事異動の状況、全国学力・学習状況調査及び大分県学力定着状況調査の結果、体力・運動能力調査の結果、不登校児童生徒数・いじめ認知件数等について、調査を行った。

また、熊本地震による管内小中学校等の被害の状況、休校・休園の措置、自宅からの登校が困難な児童生徒の状況、心のケアの状況等（相談状況等）について報告を受けた。



<主な質疑等>

- ・臨時講師の学級担任解消状況について
- ・熊本地震に係るスクールカウンセラーへの相談内容とその対応について
- ・災害時における教育事務所と市町村教委の連絡体制、地元教職員の配置について

◆調査箇所：警察学校

<概要>

警察学校における組織、教育基本方針、初任科生の入校概要、初任科生等の入校期間、各科入校者数及び日課スケジュール等について、調査を行った。あわせて、校内施設を視察した。



<主な質疑等>

- ・女性の割合、研修内容について
- ・社会情勢に対応したカリキュラムの編成について
- ・サイバー攻撃等に対応できる専門職の育成について

◆調査箇所：機動隊

<概要>

機動隊の業務重点、業務概要及び出動件数等の説明を受けた後、救命索発射銃訓練、爆発物処理訓練等について、調査を行った。

また、熊本県被災地支援の対応と課題について、報告を受けた。



<主な質疑等>

- ・熊本地震での活動内容について
- ・装備・資機材等の整備状況について
- ・出動状況について

◆調査箇所：教育センター

<概要>

教職員の資質能力の向上を図るため、教職員のキャリアやニーズに応じた基本研修、職能研修、課題別研修等を継続的・体系的に実施している。

また、研修に生かすための教育課題に基づいたテーマの調査研究活動、特別支援教育やいじめ不登校などに関する来所相談、電話相談などにも取り組んでいる。

センターの組織・分掌、事業概要、課題等について説明を受けるとともに、平成27年3月に大規模改修工事を完了した施設・設備を視察した。



<主な質疑等>

- ・子どもの貧困対策の取組について
- ・センターに寄せられる保護者からの相談内容について
- ・ベテラン教職員の持つ教育指導に関するノウハウの継承等について

【平成28年5月18日（水）】

◆調査箇所：大分支援学校

<概要>

大分支援学校における組織、児童生徒の概要、学校教育目標、重点目標・重点的取組等について、調査を行った。

児童生徒一人ひとりの実態、特性やニーズ、保護者の意向等に応じて、卒業後の生活自立・社会参加を見通した指導・支援、発達段階に対応した個別指導、教材教具の開発等に計画的に取り組んでいる。

授業の様子や独自に開発した教材等をYouTubeで公開しており、この取組は「ICT夢コンテスト2013」で総務大臣賞を受賞している。



<主な質疑等>

- ・支援学校と支援学級の違い、進路選択の判断について
- ・災害時における児童生徒の安全確保について
- ・卒業後の進路、就労状況、追支援等について

◆調査箇所：舞鶴高等学校

<概要>

県内唯一の理数科を有する普通科校として、平成17年度からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、高い志を持つ科学系人材の育成を目指すとともに、スーパーサイエンスコンソーシアムの活動を通じ本県の理数科教育の中核を担っている。

文武両道を掲げ、現役国公立大学合格率9年連続70%以上の実績とともに、ラグビー部、カヌー部をはじめ九州大会、全国大会に多数出場している。

熊本地震では校舎外壁に亀裂が生じており、被害状況を確認した。



<主な質疑等>

- ・合同選抜・単独選抜のメリット・デメリットについて
- ・地震・津波等に備えた避難マニュアル、食料等の備蓄について
- ・若手教員の授業力向上のための取組について

◆調査箇所：芸術緑丘高等学校

<概要>

県内唯一の芸術専門学校として芸術文化の振興に貢献している。

普通教科では、基礎基本を身につけるための指導やセンター試験対策に取り組み、音楽科では、各専門ごとに個人レッスンをを行う通常授業、著名講師を迎えての特別レッスンや公開レッスンを実施している。

美術科では、2年次より油絵、彫刻、日本画、デザインに分かれて専門的に学んでいる。



<主な質疑等>

- ・芸術文化短期大学との連携について
- ・授業に必要な楽器等の個人負担について
- ・アルゲリッチ音楽祭への関わり方（手伝い等）について

◆調査箇所：爽風館高等学校

<概要>

高校改革推進計画（前期）に基づき、礪信高校、大分中央高校、別府鶴見丘高校定時制を発展的に統合し、3部制課程と通信制課程を併置した独立単位制高校として平成22年に開校した。

「自新自律、至誠協働」を校訓とし、生徒自身の興味・関心・進路等にあわせて選択できる「My時間割」など、生徒の主体性を重んじるとともに、自己管理・自己責任を経験させ、自己を律する強さ、他人を思いやる優しさを持った生徒の育成を目指している。



<主な質疑等>

- ・退学者の退学理由、対応策について
- ・特色ある専門科目の検討、キャリア教育の推進について
- ・中学校に対する働きかけ、情報提供の一層の強化について

◆調査箇所：大分中央警察署

<概要>

大分中央警察署における組織、管内の概況、業務重点の推進状況等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進、交通死亡事故の抑止等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、繁華街（都町）の取締強化、街頭防犯カメラの増設等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・大分市の昼夜人口差を想定した大規模災害時への対応について
- ・速度違反車両取締箇所の選定基準について
- ・都町における防犯カメラの設置・管理状況、増設予定について

【平成28年5月24日（火）】

◆調査箇所：運転免許センター

<概要>

運転免許センター（運転免許課）における組織、運営重点及び運転免許・試験・行政処分・講習教習指導等各業務について、調査を行った。

また、当面の重点及び懸案事項として、高齢運転者に対する支援の充実、改正道路交通法（平成29年3月施行）への適切な対応について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・増加する高齢運転者に対する具体的な取組について
- ・国際運転免許証の取得状況について
- ・運転免許更新事務の短縮化について

◆調査箇所：交通機動隊

<概要>

交通機動隊における組織、活動状況、受傷事故防止器材等について、調査を行った。

また、白バイ乗務員の安全運転技能向上・受傷事故防止の目的で行われる訓練のうち、バランス走行及びトライアル走行訓練を視察した。



<主な質疑等>

- ・覆面パトカーの任務、効果について
- ・白バイ乗務員の交通事故防止対策について
- ・交通機動隊員になるための職務経験について

◆調査箇所：佐伯市立佐伯小学校

<概要>

江戸時代の藩校「四教堂」を前身とする歴史ある学校である。

28年度の教育目標は「時を守り、場を清め、礼を正しく、学を磨く」とし、学力向上の取組では、学習規律の徹底、生活規律の徹底のほか、これまで培ってきた国語科学力向上の取組の他教科への応用を推進している。体力向上の取組では、全校一斉の運動「チャレンジタイム」等を実施している。

学校の取組について説明を受けるとともに、国語、算数、道徳、体育の各授業を視察した。



<主な質疑等>

- ・少人数学級の成果、課題について
- ・地震・津波災害を想定した避難対策について
- ・独自の学力向上対策の工夫について

◆調査箇所：佐伯教育事務所

<概要>

佐伯教育事務所における組織、管内小中学校の概要、人事異動の状況、教職員数、児童生徒の様子

(ノート指導の充実、授業での図書館活用、弁当作り、清掃活動、地域との協働等)、学力向上の取組(ふりかえり学習、自主学習ノートの取組、探求的・協同的な「総合的な学習の時間」の工夫、定期的な評価テストの確実な実施)、体力向上の取組

(ICTの活用、1校1実践の取組)、いじめ・不登校の状況と対策、生徒指導の取組等について、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・少人数学級の効果の検証について
- ・教育現場における学力・体力向上のために必要な予算について
- ・管内の教職員のうち地元出身者の割合について

◆調査箇所：佐伯警察署

<概要>

佐伯警察署における組織、管内の概要、治安概況（総合的な犯罪抑止対策の推進、悪質・重要犯罪の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進、交通死亡事故の抑止、少年非行防止・保護対策に推進、災害・テロ等突発重大事案対策の推進について、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・管内に居住する外国人の主な国籍、職務内容について
- ・治安維持に貢献している駐在所の適切な評価について
- ・災害時における佐伯警察署の立地上のメリットについて

【平成28年5月25日（水）】

◆調査箇所：豊後大野警察署

<概要>

豊後大野警察署における組織、管内の概要、治安情勢、運営重点等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全保護と少年非行防止・保護対策の推進等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、祖母山及び傾山における山岳避難対策について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ストーカー事案に対する警察対応の在り方について
- ・高齢者の運転免許証返納状況、自主的返納を促す方策について
- ・山岳遭難事故に対する備え、救助体制について

◆調査箇所：竹田教育事務所

<概要>

竹田教育事務所における管内小中学校及び職員の状況、学校教育指導の重点（学力・体力の状況、学力・体力向上のための具体的な取組、いじめ・不登校の現状、未然防止・初期対応・学校復帰支援の取組、学校・家庭・地域との協働事項等）について、調査を行った。

また、熊本地震による管内小中学校等の被害の状況、休校の措置、城原小学校校舎損壊に伴う代替施設の確保、スクールカウンセラー派遣による児童生徒の心のケアの取組等について報告を受けた。



<主な質疑等>

- ・城原小学校校舎改修工事の見通し、通学時の安全確保について
- ・こころのコンシェルジュの資格、取組の内容、成果について
- ・子どもの貧困対策に係る各種支援制度の周知について

◆調査箇所：豊後大野市立朝地小学校、朝地中学校

<概要>

平成26年度より、連携型小・中一貫教育を実施している。9年間を見通した学習プログラムの導入により、小学校の学級担任制から中学校の教科担任制への連続的な移行、小中学校間の乗り入れ授業の実施、一人ひとりの成長に応じたきめ細かな指導などに取り組んでいる。また、市独自の小中一体型のコミュニティスクールを設置し、学校・家庭・地域連携による目標協働達成型の小中一貫教育を目指している。



<主な質疑等>

- ・小中一貫校の課題、課題解決のための方法について
- ・予防的心理教育の概要について
- ・民間人校長としての意見、感想について

【平成28年5月30日（月）】

◆調査箇所：国東高等学校双国校

<概要>

平成20年に国東農工、国東、双国の3校の発展的統合により、国東高校双国校として創立された。総合ビジネス科1学年1学級、全校生徒68人の小規模である。

少人数の利点を生かし、個に講じたきめ細かな指導を行っており、商業科の各種検定試験に積極的に挑戦している。また、独自の取り組みとして、国東市と連携し、外部講師による簿記検定対策講座や市内の企業訪問等を実施している。



<主な質疑等>

- ・生徒の通学状況、支援の必要性について
- ・国東市との連携事業の経過と成果について
- ・部活動（野球部）の合同チームの考え方について

◆調査箇所：国東警察署

<概要>

国東警察署における組織、管内の概況及び運営重点推等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、国東警察署の老朽化について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・大分空港における警備諸対策、テロ等の未然防止対策について
- ・高齢者のDV被害対策について
- ・国東警察署の老朽化対策について

【平成28年5月31日（火）】

◆調査箇所：別府警察署

＜概要＞

別府警察署における組織、管内の概況及び運営重点推進事項等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進、交通死亡事故の抑止等）について、調査を行った。

また、懸案事項として、留学生を中心とした外国人居住者対策について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・外国人観光客の増加に伴う犯罪被害防止対策について
- ・旧別府警察署周辺の治安維持について
- ・災害時における外国人支援について

◆調査箇所：南石垣支援学校

＜概要＞

知的障がいの児童生徒を対象とする特別支援学校である。一人ひとりの実態・特性に応じたきめ細かな教育を進め、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指している。

キャリア教育を推進しており、高等部生徒の一部が週1回、卒業後の就労を想定し、事業所等で体験実習を実施している。

部活動では、他校に先駆けて陸上部を創部し、中体連、高体連等で活躍している。



＜主な質疑等＞

- ・10年間で生徒数が大幅に増加している理由について
- ・進路指導、就労支援、卒業後における継続支援について
- ・災害時の避難マニュアル、備蓄、別府市と連携について

◆調査箇所：別府鶴見丘高等学校

＜概要＞

創立105年目の伝統ある普通科の進学校である。進学指導重点校として、難関大学受験に向けた指導を低学年時より実施している。

部活動では、バレーボール部、体操部、バドミントン部などの体育部、書道部、美術部、科学部などの文化部が全国大会や九州大会に出場するなど文武ともに秀でている。

概要の説明を受けた後、授業の様子、懸案事項である旧式放送機器の状況、熊本地震で被災した校舎の外壁・内壁剥離の状況などを視察した。



＜主な質疑等＞

- ・いじめ防止委員会の役割について
- ・学力向上のための独自の取組について
- ・指定校枠確保のための大学へのアプローチについて

◆調査箇所：別府教育事務所

<概要>

別府教育事務所における組織、管内の概況、幼稚園・小中学校の概要、教職員の構成・異動状況、管内小中学校の学力・体力の状況と課題、不登校等の現状と課題及び市町村教育委員会と協働した施策の推進（管内教育行政連絡会の設置、定期的な学校訪問による学校支援・情報共有などの独自の取組）などについて、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・熊本地震の検証について
- ・地方創生を踏まえた今後の教育の考え方について
- ・フッ化物洗口の一層の推進について